



【わじま かつひろ さん】 支笏湖温泉 / 45歳

●支笏湖生まれの支笏湖育ち。支笏湖地区を支える若手の一人として、支笏湖まつり実行委員会に所属し、氷濤まつりの会場作りをはじめ、さまざまな地域活動に積極的に取り組んでいます。

来ていただくお客さんに感動を味わってほしい

千歳・支笏湖氷濤まつりは1月30日～2月15日まで支笏湖畔駐車場で開催されます。

冬

の支笏湖を彩る千歳・支笏湖氷濤まつり。毎年多くの方が訪れます。

現在、骨組みへの水かけ作業が毎日続いています。

輪島さんは、支笏湖まつり実行委員会のメンバーとして氷濤まつりの会場作りを注いでいます。

「支笏湖で育ちましたので、氷濤まつりは以前から生活の中にありました。地元の企業に就職しましたので、実行委員会に入ったのも自然の流れでした」と氷濤まつりへの参加のきっかけを話す輪島さん。

水像作りは骨組みに水をかけて凍らせる作業を24時間体制で行います。「水像作りは、自然が相手の仕事です。気温や天候、風向きによって水像の形や透明さが変わってくるので、水

をかけているときは寒暖計や天気注意到意するなど、とても気をつかいます。」と話します。

毎年12月中旬から水をかけ始めますが、思ったような形ができたり一夜で大きく成長したりするとやる気が一段と高まるという輪島さん。「20年以上水像作りに携わっていますが、毎回予想どおりに完成するわけではありません。やってみないとわからないのがおもしろいところですよ」と氷像作りの楽しさを話します。

氷濤まつりでは支笏湖のきれいな水を使うため、独特の青みのある水像ができます。「札幌の雪まつりよりいいですねとお客さんに言われたことがあり、そのときは本当にうれしく思いました。来場される方の笑顔や励ましの言葉が

あるからこのイベントを続けられます」と熱い気持ちを語ります。

輪島さんをはじめ実行委員会のメンバーは、厳しい財政状況の中、多くの方が楽しめるようさまざまな取組をしています。「氷の滑り台などで子どもたちには自由に遊んでもらい、大人の方にはコケの洞門をはじめ支笏湖ブルーの氷の造形美を楽しんでもらいたいと思います」と話します。

「千歳市民でも支笏湖に来たことがない方がいると聞いています。市街地から30分のところにある大自然に包まれた美しい支笏湖を見て感じてほしい。身近な自然の美を発見してもらいたいと思います」と語ってくれました。

人のいる風景

SCENERY OF PEOPLE



輪島

KATSUHIRO
WAJIMA

勝広

さん